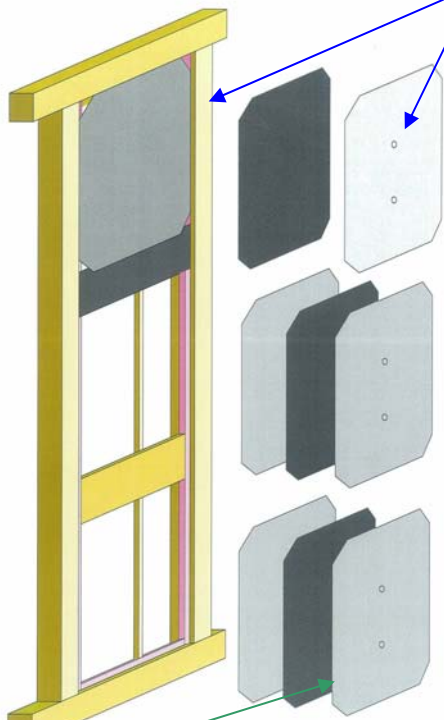


木造住宅の耐震改修工法

<p>[名称] 複合鋼板耐震壁 『セーフティウォール工法』</p>	<p>評価番号 W-020</p>	
	<p>評価年付日 H22.3.9</p>	
<p>[申請者] 有限会社 新技研</p>	<p>[他機関での評価] 国土交通省</p>	
<p>《セーフティウォールとは》</p> <p>2枚の薄鋼板（表=0.6mm,裏=0.4mmの高性能メッキ鋼板：ZAM 日新製鋼社製）の間に板状の粘弾性体（ブチルゴム系樹脂）を強固に接着させた積層材で双方の優れた特性を相乗的に利用した、耐震+制振のW効果を実現し、建物に伝わった地震エネルギーを効率よく吸収。交通振動のような微振動から強風や大地震（震度7, 800gal以上）等の大きな揺れに対しても効果を十分に発揮します。</p> <p>また本震への対応だけではなく、心配される断続的に繰り返し発生する余震に対しても性能が低下することなく効果を発揮します。</p> <p>※本製品の性能は全て、産学共同企画開発において、中部大学工学部における度重なる実験による学術データによって裏付けされています。</p> <p>《工法の特徴》</p> <p>本工法は、耐力壁としての強さ（建築基準法 壁倍率 4.5）と、揺れを抑える性能（減衰性能）のW効果を可能とした国土交通大臣認定品であり、建築基準法において、使用時他の耐震要素（筋交い、構造用合板等）との併用が認められています。したがって、耐震補強工事においてもお施主様のご意向（希望されるご予算、耐震性能等）に沿った耐震改修計画を立てることが可能です。何より大切な『生命』と『財産』をお守りするため全力を尽くします。</p> <p>《 施工実績 》</p> <p>○耐震補強実績 490棟（平成22年9月末 現在）</p> <p>○『あいち木造住宅耐震改修事例コンペ』（愛知建築地震災害軽減システム協議会主催）において、【セーフティウォールを用いた在来工法】で「優秀賞」「審査委員長特別賞」受賞（平成21年1月）</p>		
<p>[問い合わせ先] 有限会社 新技研 〒461-0001 名古屋市東区泉1丁目5-31（第2泉ビル3F） TEL (052) 968-2176 FAX (052) 968-2177 HP http://www.shingiken.com / E-mail : sgk136@mediacat.ne.jp</p>		



パネルサイズ
775mm × 910mm
× 1.0mm
表面 0.6mm
裏面 0.4mm

鋼板
国土交通大臣認定建築材料：日新製鋼社製 ZAM
※高耐食溶融メッキを施しており、錆びなどの心配も解消！！

粘弾性体
鋼板と鋼板の間には、I.T.Sのために独自開発したシート状のブチルゴム系粘弾性体が挟み込まれており振動エネルギーの吸収に大きな役割を果たしております。この粘弾性体の性能は度重なる性能試験により証明されております。